

安全・安心通信 2月号

区役所

「自転車盗難・ひったくり防止キャンペーン」のお知らせ



無料

今回配布のワイヤー錠とカバー(赤)

自転車でお越しいただいた方に、ひったくり防止カバーおよびワイヤー錠の無料配布(先着100名)を実施します。

日時 2月14日(月) 14時~14時30分

場所 浜北公園(浜4-16)



※荒天などにより、中止になることがあります(当日12時まで判断)。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・変更となる場合があります。

※カゴの種類によっては、取付けできない場合があります。

問合せ 市民協働課 1階⑧番 ☎6915-9848

警察署

安まちアプリを登録しましょう!

大阪府警察のアプリで防犯情報をお届けします!

- 安まちメールをアプリで受信
- 防犯パトロールで安全・安心なまちづくり
- 防犯マップを確認



- いざというときに痴漢撃退・防犯ブザー機能
- お得な割引が受けられる無料クーポンを配信

問合せ 鶴見警察署 生活安全課防犯係
 ☎6913-1234(内線263・264) FAX6913-1869
 ホームページ <http://www.info.police.pref.osaka.jp/ps/tsurumi>

アプリの登録方法

Step1 ストアからアプリのダウンロードを行う
 Step2 アプリを起動します
 Step3 アプリの設定を入力します
 Step4 アプリを利用できます

消防署

STOP! たばこ火災

死者が発生した住宅火災の中で、最も多いのは「たばこ」が原因によるものです。その発生状況を見ると、「不適當なところに置く・捨てる」と「消火処置が不十分」が併せて6割以上を占め、注意をしていれば発生を防止できたと思われる。

問合せ 鶴見消防署 ☎6912-0119 FAX6912-6043

たばこ火災を防ぐポイント

- 寝たばこは絶対にやめましょう。
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意しましょう。
- 吸殻は水で完全に消火しましょう。
- 吸殻はためずに定期的に捨てましょう。
- 万が一に備え、布団カバーやシーツ、枕カバーは防災製品を使いましょう。

犬の用心



チカッキョウだ! 全員集合

ツルラボ17 (鶴見区地域活動研究会)

テーマ「環境」

2月から、鶴見区のすべての地域が「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」を実施します。大阪市24区の中で、全地域が取り組むのは鶴見区が初めてです。そこで今回のツルラボでは、環境活動について知識を深めました。

なぜ今、プラスチックごみ減量に取り組むのか?

- プラスチックごみが海の生態系を脅かし、人体へも影響を与えていることが大きな問題になっている。しかも、日本のプラスチック発生量は世界で2番目に多い。
- そこで、プラスチックを使い捨てから資源循環に転換していくことがとても重要。

目標は、2025年までにペットボトルを100%資源化すること

- ペットボトルはペットボトルに完全リサイクルが可能。
- 普通ごみに含まれ焼却処分されるペットボトルをなくし、100%リサイクルをめざそうというもの。

右記の地活協の構成団体インタビューは、鶴見区まちセンのYouTube、Facebookでも紹介しています。



YouTube
ツルカフェチャンネル



facebook
つるカフェ

令和3年度
まちセンレポート

担い手の本音トーク!大公開

地活協の構成団体インタビュー

地活協の運営を担う運営委員会には、各地域の地域振興会(町会)や構成団体の代表者が参加して、さまざまな地域活動に取り組んでいます。

第5回 青少年福祉委員

地域における青少年の健全育成に関する啓発を目的に、大阪市から委嘱を受けて活動しています。鶴見区では、鶴見緑地でのリレージョギングと写生大会、違法広告物撤去の「かたづけたい」などを行っています。東京オリンピック開催の際は、成人雑誌などを無くす運動を行い、ほぼすべてのコンビニから青少年に対する有害図書がなくなりました。

●メンバーの地活協へのかかわりは?

盆踊りやお祭りでは、子どもが楽しめるゲームなどを実施しています。餅つきでは、もち米を蒸すほか、つき手として活躍しています。他に、防災訓練、広報活動にも主体的に関わっている地域もあります。地域独自事業として、公園でのラジオ体操や、地域のお祭りでゲームコーナーを担当するなど、地域の担い手として幅広く活動しています。

●活動継続の秘訣は?

なんと言っても、仲良く楽しくをモットーにすること。委員が一丸となって事業を行うことで達成感も得られます。また、ボランティア精神を持つこと、そして、活動を通して地域活動の先輩や若い人との交流を深める場をたくさん持つことも、活動を継続する秘訣です。

●活動の課題は?

課題は「人」です。鶴見区の青少年福祉委員は、基本的に各町会から一人ずつ推薦してもらい、全部で150名前後いますが、仕事や用事で来られない人も多く、活動に参加しているのは半数ぐらいです。いつも決まった人しか出てこないのも気になります。もっとたくさんの人に参加してもらいたいと思います。

●今後の抱負は?

コロナ禍でリレージョギングは2年連続中止になり、23回目の企画段階で止まっていますが写生大会は今年度開催できました。委員のモチベーションも落ちてきているように思います。コロナ前のように活気ある活動にしていきたいです。



写真撮影にご協力くださったみなさま(左から)宗廣哲明さん、米田治朗さん、高垣善浩さん、松本高佳さん

12地域の青少年福祉委員の方に、アンケートもご協力いただきました。

※写真撮影時のみ、マスクははずしています。

地域ごとにある「つながり」と「きずな」を活かして、さまざまな人たちがまちの将来像や地域課題を考える地域運営の仕組みが「地域活動協議会」です。各団体が連携してさまざまな地域活動に取り組んでいます。

問合せ 鶴見区まちづくりセンター ☎6967-8931 ✉turumi-machikyoku@arion.ocn.ne.jp